



# 市議会報あやせ

●平成16年(2004年)5月  
発行 綾瀬市議会  
☎0467-70-5644  
編集 議会報編集委員会

## 3月定例会 平成16年度予算決まる

# 6会計予算総額41.9億7千万円に

## 市民課総合窓口などを土日開庁に

三月定例会が、三月二日から二十二日までの二十一日間の会期で開かれました。この定例会では、平成十五年度四会計補正予算、平成十六年度六会計予算、綾瀬きらめき市民活動推進条例の制定、手数料条例などの一部改正、市道路線の認定のほか監査委員及び固定資産評価審査委員会委員の選任など市長から提出された二十六議案を審議し、それぞれ可決、同意。議員提出議案では、意見書七件を可決しました。(審議結果は八ページに掲載) 陳情は七件を趣旨了承、一件を趣旨不承、一件を継続審査と決しました。

## 綾瀬きらめき市民活動推進条例を制定

本定例会に提出された条例のうち、綾瀬きらめき市民活動推進条例は、市民、事業者、市が協働し魅力と活力にあふれる地域社会の実現を目的に市民活動の推進に関する基本理念と施策の基本事項を定めるもの、印鑑条例の一部を改正する条例は、人権及び個人情報保護の観点から、性別記載事項の必要性の見直しに伴い、印鑑登録原票から性別の項目を削除するものです。

## 市民と行政の協働のまちづくりを目指す

### — 施政方針 —

三月定例会に市長は、平成十六年度一般会計予算二百五十三億九千万円を柱に、六会計予算総額四百九十九億七千万円を提案し、併せて新年度の施政方針を述べました。

その中で市長は、輝かしい未来を見据え、直面する困難な課題に真正面から立ち向かうとともに、行財政システム改革を推進し、市民生活の安定と向上に全力で取り組んでいく。本市の財政状況は、市政運営の根幹をなす市税収入のうち個人市民税に大幅な落ち込みが見込まれるなど厳しい状況ではあるが、全組織を挙げて創意工夫を凝らし、スクラップ・アンド・ビルドに取り組むなど、財

政の効率化や経費削減に努める一方「緑と文化が薫るふれあいのまちあやせ」の実現と八万二千余の市民が幸せと豊かさを実感できるまちづくりを推進するとし、前年度比二十億九千万円の増、伸び率六・〇％の積極型予算を編成しました。

また、補正予算は、一般会計と三特別会計予算を総額で七千二百四十六万円余を減額するものです。これは、一般会計から深谷中央特定地区画整理事業特別会計への繰出金の減などが主な要因です。このほか、道路議案では、寺尾南二丁目内などの開発行為により帰属された道路の認定四件を可決しました。

## 監査委員及び固定資産評価審査委員会委員を選任

最終日には、二議案が追加提案され、監査委員の選任については増田昭八氏(深谷)、固定資産評価審査委員会委員の選任については川口賢一氏(深谷)をそれぞれ再任することに全会一致で同意しました。

議員提出議案では、意見書七件を可決し、国などの関係機関に提出しました(意見書は六・七ページに掲載)。

## 議会の動き

- 2月
- 17日 北海道深川市議会議員来市
- 20日 議会全員協議会
- 24日 議会運営委員会
- 3月
- 2日 3月定例会本会議(初日)・議会全員協議会・議会運営委

- 3日 3月定例会本会議(第2日)・議会全員協議会
- 5日 教育福祉常任委員会
- 8日 経済建設常任委員会
- 9日 総務常任委員会
- 15日 基地対策特別委員会
- 17日 3月定例会本会議(第3日)・議会運営委員会
- 18日 3月定例会本会議(第4日)
- 22日 3月定例会本会議(最終日)

- 4月
- 20日 議会全員協議会
- 28日 議会報編集委員会
- 5月
- 7日 議会運営委員会
- 12日 議会運営委員会
- 14日 5月臨時会・議会運営委員会・常任委員会・特別委員会・議会全員協議会

4月5日、市内の全小学校で入学式が行われました。ここ土棚小学校では、在校生の歌やお祝いの言葉に迎えられ、61人のかわいい1年生が誕生しました

